

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~		
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -		
重点プロジェクト				
主管課	市民活動推進部 環境課	評価責任者	浦谷 健二	
		評価日	令和2年7月2日	
関連課	公園緑地課、道路課、上下水道課			
目標	国や県の動向を踏まえ、より効果的な温室効果ガスの削減やエネルギー対策などの実施、地球温暖化対策に関する普及・啓発を推進する。また、大気や水質など環境情報の把握に努めるとともに、市民、事業者等との協働により快適な環境づくりを目指す。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1)地域環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の省エネルギー化を図り、再生可能エネルギーなどを率先して導入することで、低炭素型まちづくりを推進する。 大気や水質の調査をはじめとした環境調査を継続的に実施し、結果を市民と情報共有を図る。 市民や環境活動団体、学校と協働、連携して環境フェアなどを実施することにより、環境学習の機会を提供し、環境活動の周知、啓発を図る。 <p>(2)地域環境美化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路や公園、水辺などにおける地域での環境美化活動を支援する。 ポイ捨て防止などモラル・マナーの向上に向けた意識啓発を推進する。 			

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	公共施設の電気使用量					
		説明	庁舎など公共施設における電気使用量。温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量を削減することで、温室効果ガスの発生を抑制する。					
		単位	kwh					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	17,396,755	17,249,325	17,101,895	16,954,465	16,807,035	16,659,605
		実績値	14,012,509	12,616,309				
	指標 2	指標名	地球環境美化自主活動延べ参加者数					
		説明	環境美化活動団体による環境美化活動参加者数					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	7,431	7,534	7,637	7,741	7,844	7,947
		実績値	8,081	7,508				
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
指標 4	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
指標 5	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	195,922	164,081	153,666			
	人件費	40,676	39,656	38,871			
収入	特定財源	2,502	2,672	2,041			
	一般財源	234,096	201,065	190,496			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	地球温暖化対策	公共施設に緑のカーテンを設置し、温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量の削減を図った。 また、5月からクールビズの推進、職員への省エネの取り組み依頼などでエネルギー使用の抑制を図った。	公共施設に緑のカーテンを設置及び5月からクールビズ等を実施した。このような取り組みにより、電気使用量が1,396,200kwh削減した。	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組	地域環境美化活動	地域クリーン推進員を中心に、地域の巡回、ごみ集積所の分別状況の確認等を行い、美化活動の推進及び環境美化意識の向上を図った。	環境美化自主活動 実施回数 208回 ごみ回収量 6,490kg 延べ参加人数 7,508人	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組				
取組				
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第2期ふじみ野市環境基本計画前期行動計画の4つの基本方針(1)「学びと協働の推進」、(2)「環境にやさしいまちづくりの推進」、(3)「環境負荷の少ない循環型社会の構築」、(4)「自然と調和した環境づくりの推進」に基づき、「環境学習館えこらぼ」を活用し、環境の場を広く市民に提供、また環境活動団体を支援し協働事業を推進するとともに、環境意識の向上を図るための施策を実施し意識啓発を行った。 今後も市民、事業者とともに環境配慮への意識を高め、協働して取り組みを図っていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		環境基本計画・地球温暖化対策推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	宮寺 和美	
事務事業期間		平成20年度~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等		環境基本法、ふじみ野市環境基本条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	ふじみ野市環境基本計画に基づき、環境基本計画行動計画の推進及び進行管理に取り組み、多様な自然環境の保全・再生、より良い生活環境の創出、環境教育の推進及び地球温暖化対策の推進等を図る。			
	事務事業の経緯	環境基本計画行動計画に基づき各事業を推進し、年度ごとに効果測定などを行いながら進捗状況の把握を行う。			
	事務事業の概要	環境基本計画行動計画の進行管理、環境年次報告書の作成、環境審議会の開催・運営、環境協働事業の推進と支援、埼玉県西部地区環境事務研究会への参加、地球温暖化対策の推進、環境フェアの開催、地域美化自主活動（ごみゼロ運動の支援）、市民の地域環境美化意識の向上、たばこのポイ捨て防止及び喫煙マナーに関する啓発。			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会（11月18日開催） 第1回 内容：令和元年度版環境年次報告書について ・環境フェア（10月20日（日）開催 19日雨天のため順延） 来場者数：約1,800人 参加・協力団体：40団体 			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.60	2.20	2.29
		人件費	21,050	17,552	18,270
	再任用職員	従事人数(人)	0.70	0.20	0.20
		人件費	2,577	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		23,627	18,321	19,039	
事業費	報酬	116	41	115	
	賃金	0	0	0	
	需用費	346	659	433	
	委託料	1,931	2,540	2,800	
	使用料及び賃借料	147	166	228	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	212	203	330	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	403	291	613	
支出合計		26,781	22,220	23,558	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		26,781	22,220	23,558	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		234	194	203	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	前期行動計画の指標の進捗状況		
	説明	平成29年度に策定した第2期環境基本計画 前期行動計画に位置づけた48指標の進捗状況の管理		
成果	単位	達成事業		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	29	35	35
	実績値	17	22	
指標 2	指標名	公共施設の電気使用量		
	説明	庁舎など公共施設における電気使用量。温室効果ガスの算定基礎となる電気使用量を削減することで、温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化対策を推進する指標となるため。		
成果	単位	kWh		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	17,396,755	17,249,325	17,101,895
	実績値	14,012,509	12,616,309	
指標 3	指標名	地域環境美化自主活動の参加者数（延べ）		
	説明	参加者数の把握		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	8,365	8,870	8,529
	実績値	8,081	7,508	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会（11月18日開催） 第1回 内容：令和元年度版環境年次報告書について ・環境フェア（10月20日（日）開催 19日雨天のため順延） 来場者数：約1,800人 参加・協力団体：40団体 ・環境協働事業補助金の申請額、確定額 <ol style="list-style-type: none"> 1 花と緑部会（緑のカーテン事業）60,000円（60,000円） 2 ふじみ野市環境情報ネット（情報誌発行）60,000円（34,000円） 3 環境緑化をすすめる会（遊休農地緑化事業）20,000円（20,000円） 4 上福岡駅前に花と緑を育てる会（上福岡駅前ロータリー花壇化）60,000円（60,000円） ・地域環境美化自主活動の支援 ごみ袋配布枚数 5,985枚 ごみ回収回数 121回 ごみ回収量 6,490kg 延べ参加人数 7,508人 ・ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーンの実施 第1回（5月22日）参加者数 146人 第2回（11月13日）参加者数 114人
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市の多様な自然環境などを計画的に保全し、より良い生活環境を創出していくため、市民に理解と協力を求めながら環境にやさしいふじみ野市を推進していく。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		環境調査・対策事務		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成22年度~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、ダイオキシン類対策特別措置法、埼玉県生活環境保全条例、埼玉県地球温暖化対策推進条例、ふじみ野市環境基本条例等			
事務事業の内容	事務事業の目的	環境にかかる市民からの様々な苦情、要望などに対し、法令などに基づき適切な対応を図る。また、市内の大気環境、河川等の水質・魚類・底生生物、主要幹線道路の騒音・振動・交通量、大気・土壌に含まれるダイオキシン類の現状を把握し、市民の生活環境の保全に努める。			
	事務事業の経緯	典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）の対応のみならず、空き地の適正管理、カラス、野良猫対策などを含め、生活環境の保全に努める。また、生活環境の状況把握のため、大気中の汚染物質、公共用水域の水質汚濁状況、自動車交通騒音・振動・交通量、大気・土壌のダイオキシン類の調査を行っている。			
	事務事業の概要	多様化する市民からの苦情や相談などに対し、行政として対応できる範囲で適切な対応を行う。また、ケースに応じてボランティアとの協働や関係機関を紹介するなど、情報提供により問題解決に努める。環境調査については、一般大気、ダイオキシン調査、河川水質、魚類調査、道路騒音・振動調査を実施する。その他、一般公衆浴場の施設整備にかかる費用を助成、設備の近代化を促進し、経営の健全な育成を図る。			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公害関係の苦情相談対応 111件 ・空き地関係の苦情相談件数 34件 ・環境調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・河川水質、大気汚染、騒音、振動等 ・自動車交通騒音測定 ・ダイオキシン類濃度測定 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.40	1.20
		人件費	8,096	11,170	9,574
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.56	0.60
		人件費	369	2,153	2,307
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.54	0.50	0.50
	人件費	774	814	0	
人件費計		9,239	14,137	11,881	
事業費	報酬	0	0	831	
	賃金	771	794	0	
	需用費	195	251	218	
	委託料	5,692	5,902	6,700	
	使用料及び賃借料	0	1	5	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	98	0	200	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	57	311	485		
支出合計		15,277	20,581	20,320	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	174	138
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	1	2
一般財源		15,277	20,406	20,180	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		134	178	174	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情申立件数		
	説明	個々の感じ方により苦情となる状況は様々であり、苦情発生を指標とする事は難しいが、苦情申立件数を経年的に把握するため苦情申立件数とした。また、環境の改善が苦情件数の減少と相関関係があると想定し数値目標を設定した。毎年約2%減少と設定した。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	91	89
	実績値	93	111	
指標 2	指標名	野良猫の不妊治療頭数		
	説明	苦情・相談件数のうち最も多いのが野良猫にかかるものであり、本事業は必要性が極めて高いとともに、市への苦情の有効な対応策となっている。またボランティアとの情報共有により市内の状況把握も可能である。どうぶつ基金とボランティアの協力によるところが大きい。市として、今後も継続して実施していきたい。		
活動	単位	頭		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	140	140
	実績値	138	172	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公害や空き地等に関する苦情や相談について現地を確認し、必要に応じて指導を行うことで市民の生活環境の保全に努めた。 公害関係の苦情相談対応：111件 空き地関係の苦情相談件数：34件 ・近年、特に苦情が多い野良猫の問題について、どうぶつ基金の支援を受け、ボランティアとの協働事業により不妊治療を行うことで野良猫の繁殖抑制に努めた。 不妊手術：172頭 ・令和元年度環境調査の実績 【大気汚染、河川等水質、騒音・振動・交通量調査業務】 大気汚染 一般大気：年4回7地点 沿道大気：年2回1地点 河川水質 水質：年4回5地点 魚類・底生生物：年1回1地点 騒音・振動・交通量 年1回3地点、 【自動車交通騒音面的評価業務】 自動車交通騒音測定面的評価 年1回2路線 【ダイオキシン類（大気・土壌）濃度測定業務】 ダイオキシン類 大気：年2回2地点 土壌：年1回4地点
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成28年度に実施した市民アンケートによると、市民の多くは緑や水辺を大切にするとともに清潔で便利なまちを望んでいる。また、環境に係る本市の課題として、犬などのフン、タバコやごみのポイ捨てなどが多く、また、地域によってはカラスや野良猫問題もあげられている。市に寄せられる苦情も典型7公害よりもこれらの苦情が多くなっている。
中長期的方向性	このような中、良好な生活環境の保全のために、苦情解決のための迅速な対応が求められている。また、環境の悪化は直接市民の健康や生活に直接影響するため、今後も定期的な環境調査により環境基準との比較を行い、状況の把握が必要である。これらを踏まえ、本事業を今後も継続実施とする。
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		畜犬登録事務	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~		
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -		
予算費目 一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費				
所管部課 市民活動推進部 環境課			評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間			評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等 狂犬病予防法 ふじみ野市狂犬病予防法施行細則				
事務事業の内容	事務事業の目的	狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止し及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬の飼い方の啓発を行う。		
	事務事業の経緯	犬の登録及び狂犬病予防注射は、狂犬病予防法で義務付けられているため、法に基づき事務を行っている。		
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録等の事務 ・集合狂犬病予防注射業務 ・朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会事務 ・犬の飼い方マナー啓発 		
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録等の事務 登録頭数4,126頭、狂犬病予防注射接種頭数2,940頭 ・集合狂犬病予防注射業務 4日間 666頭 ・朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会事務 集合狂犬病注射、定期総会、役員会、犬の飼い方・しつけ方教室開催 ・犬のマナー啓発 犬の飼い方・しつけ方教室の開催、市報による啓発 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.30
		人件費	3,239	3,192	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.20
		人件費	0	0	769
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.41	0.50	0.50	
	人件費	593	814	0	
人件費計		3,832	4,006	3,163	
事業費	報酬	0	0	808	
	賃金	591	805	0	
	需用費	260	355	302	
	委託料	270	297	339	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	4	4	5	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	346	338	447		
支出合計		4,710	4,991	5,064	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	2,502	2,497	1,899
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	2
一般財源		2,208	2,494	3,163	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		19	22	27	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	狂犬病予防注射接種率		
	説明	狂犬病予防法第5条により犬の所有者は狂犬病の予防注射を年1回受けさせなければならない。 (狂犬病予防注射接種頭数 ÷ 犬の登録数 × 100 = 接種率)		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	76.00	72.00	72.00
	実績値	69.85	71.26	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 法に基づく犬の登録、注射、死亡等の窓口受付事務及びその会計処理に関すること。 2 朝霞保健所への月例報告に関すること。 3 犬の糞尿及び鳴き声等の苦情処理に関すること。 4 迷い犬や逃亡犬の相談及び捕獲並びにその処理に関すること。 5 集合注射（市内6公園の4日間）の実地とその事務及び会計処理に関すること。 日程：4月22日～25日の計4日間 会場 市内公園6箇所（清見第2公園、水天宮公園、福岡中央公園、西ノ原中央公園、鶴ヶ岡中央公園、亀久保区画整理記念公園） 6 狂犬病予防注射手続きの催促に関すること。 狂犬病予防注射の手続きをしていない犬の飼い主に対して、催促の通知はがきを送付した。 7 朝霞保健所管内ふじみ野地区狂犬病予防協会に関すること。 8 啓発活動その他 飼い主の適正飼育の啓発、マナー啓発用看板の配付、散歩時のフンの回収袋の配付 9 ドッグランの運営、維持管理に関すること。 ふじみ野市・三芳町愛犬家協会に管理・運営をお願いするとともに、協会が除草した雑草をふじみ野市や三芳町が処分するなど連携して維持管理に努めた。
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、集合狂犬病予防注射事業や犬の飼い方・しつけ方教室、市報等により、引き続き犬の飼い主に対する啓発を行っていく。 また、既に亡くなっている犬に対し、飼い主が手続きを行っていない事例も見られるため、高齢犬でここ数年手続きをしていない犬に対しては、所在（電話連絡、現地確認等）を確認するなど登録台帳の整理を引き続き行う。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		人間東部地区事務組合負担金（火葬場・斎場分）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	宮寺 和美	
事務事業期間			評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	2市1町で構成している人間東部地区事務組合に対して、斎場・火葬場の維持・運営費用に充てることを目的に負担金を交付する。			
	事務事業の経緯	人間東部地区事務組合規約に基づき、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の2市1町の広域事業として、人間東部地区事務組合において運営する広域火葬・斎場の運営事業を行うにあたり、人口等から按分された経費を負担する。			
	事務事業の概要	人間東部地区事務組合において運営する広域火葬場・斎場の運営事業に係る費用を2市1町において分担金を同組合に支出する。 火葬場・斎場の「設置費用」を支出しているため、均等割りはふじみ野市（旧上福岡市・大井町）2/4、富士見市・三芳町は1/4ずつの負担。			
	令和元年度の主な取組	人間東部地区事務組合に主に設置費用に対する負担金を支出し、斎場・火葬場を同組合が運営した。運営についての財源は、火葬場使用料、葬儀式場使用料となる。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.30
		人件費	1,620	1,596	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.00	0.00
		人件費	369	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,989	1,596	2,394	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	85,850	84,784	73,029	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		87,839	86,380	75,423	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		87,839	86,380	75,423	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		769	755	649	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	火葬件数		
	説明	火葬場・葬祭場に対する負担金の支出事務であり、指標の設定が難しいため、火葬の実績件数を記載している。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	949	1,063	1,063
	実績値	1,063	1,050	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>・ 入間東部広域斎場しののめの里の管理運営事業 所在地：富士見市下南畑70番地1</p> <p>火葬場と葬祭場が1つになっている施設であり、組合である2市1町の住民であれば、組合市町以外の住民よりも低価格で利用できる。 施設使用料としては火葬料金、待合室使用料、霊園室使用料、葬儀式場使用料がある。 また、ペットの犬などの小動物の火葬を行うことも可能である。 施設使用料は管理運営事業における主な歳入の1つであり、また、ガス燃料や施設の修繕料、光熱費が主な歳出である。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民が必要とする施設であるため、今後も公営施設として事業継続していく。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		人間東部地区事務組合負担金（し尿処理分）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	19 地域、自然環境 - 快適な生活環境の保全を目指します -			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 03し尿処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	宮寺 和美	
事務事業期間		昭和61年度~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事務事業の内容	事務事業の目的	2市1町において構成される人間東部地区事務組合において、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を規定する廃棄物(し尿)の適正処置事業の運営費用に充てることを目的に負担金を交付する。			
	事務事業の経緯	人間東部地区事務組合規約に基づき、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の2市1町の広域事業として、人間東部地区事務組合においてし尿及び浄化槽汚泥の処理事業運営を行うにあたり、人口割等から按分された経費を負担・事業運営し、それが今日まで至る。			
	事務事業の概要	人間東部地区事務組合（浄化センター）がし尿及び浄化槽汚泥を衛生的に処理する事業を維持するために、構成市町から負担金を同組合に支出する。			
	令和元年度の主な取組	人間東部地区事務組合に負担金を支出することで、市内から発生するし尿及び浄化槽汚泥を同組合で処理した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.30
		人件費	1,620	1,596	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.00	0.00
		人件費	369	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,989	1,596	2,394	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	100,002	67,969	65,778	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		101,991	69,565	68,172	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		101,991	69,565	68,172	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		893	608	587	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	浄化槽及びし尿汲み取りを利用する市民		
	説明	指標の設定が難しいため、浄化槽及びし尿汲み取りを利用する市民の数を記載している。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	12,431	12,937	12,937
	実績値	12,937	9,833	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>下水道が整備されていない地域の浄化槽や工事現場などの仮設トイレのし尿を処理する施設の管理運営事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月浄化センター竣工 <p>所在地：駒林1066番地</p> <p>2市1町から集められたし尿が浄化センターで河川の生物にも無害なレベルまで浄化され、放出される。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市内では生活排水を浄化槽により処理している建物や工事現場の仮設トイレなどが存在することから、今後も、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理が必要である。
中長期的方向性	
継続	